

富山県高P連会報

第 117 号
2017.9

編集発行

富山県高等学校PTA連合会
発行人 会長 石坂 兼人
富山市千歲町1-5-1
富山県教育記念館41号
TEL 076(432)2810
FAX 076(432)1501



富山県高等学校PTA連合会 会長 石坂 兼人

時代が求める高等学校の変化

皆様には日ごろよりPTA活動にご理解と協力を賜り厚く御礼申し上げます。本年6月の総会におきまして富山県高等学校PTA連合会会長2年目を拝命いたしました。身に余る大役ではありますが、皆様のご指導とご協力により、子どもたちが安心して有意義な高校生活を送れるよう力を尽くしてまいりたいと思っております。

本年度の県高P連事業としては、すでに6月に各地区高P連指導者研修会、7月に北信越地区高P連研究大会富山大会、8月には石井知事への要望、全国高P連大会静岡大会などが開催されました。特に、7月7日から二日間わたって開催されました北信越地区高P連研究大会では、主管県連として皆様には長期にわたる準備から当日の運営まで、多大なるご協力をいただきました。おかげさまで成功裏に大会を終えることができましたが、これも偏に皆様の熱意の賜物と、深く感謝いたします。

さて、昨年から富山県高等学校PTA連合会の会長を務めている関係で、全国高P連の研修会などにもたびたび参加しています。毎回教育を取り巻く話題の講演を拝聴しています。今年の2月には文部科学大臣補佐官の鈴木寛さんのお話を聞く機会に恵まれました。

OECD（経済協力開発機構）が3年に一度、15歳向けに実施している国際学力テスト「PIISA調査」で、日本は2003年に一度低迷しましたが、その後の教育改革により、先進34か国中2012年には平均得点が科学的リテラシーでは1位、読解力でも1位、数学的リテラシーでは2位、そして総合1位となりました。これは、「日本の教育は世界一」であり、「15歳までの日本の教育は世界一」と言っても過言ではありません。これを高校教育と大学教育でさらに伸ばしていかなければなりません。しかし、残念ながら高校では伸び悩み、大学でもっと残念なことになっています。国際大学ランキングでは、東京大学34位、京都大学37位という結果であり、満足できるとは言えません。だからこそ高校教育と大学教育を集中的に改革しなければならぬと鈴木さんは力説しています。

方が大きなき影響を与えています。入試に対応した教育になりがちなのです。大学入試が変わらないと高校教育は変わらないということですね。そこで、今まで中心だった「知識・技能」にプラスして「思考力・判断力・表現力」「主体性をもった多様な人々と協働して学ぶ態度」といった学力の3要素を伸ばすことに注力していきます。マークシートから記述式、脱丸暗記、高校時代の活動報告、面接、コミュニケーション能力などに代表される能力を重視していきましょう。私自身も社会環境の変化からの教育現場が変化しなければならぬことを最近強く思います。戦後の教育はマニュアルを覚え、正確に早く再現させる力が求められました。これは大量生産、大量消費システム、工業社会に資する人材の育成という意味では成功してきました。しかし、これは最近よくマスコミにも取り上げられています。21世紀の社会では人工知能、バイオテクノロジー、ロボットなどの科学技術が飛躍的に発展すると、多くの職業が機械、ロボットに取って代わられる時代がすぐそこまで来ていると考えます。社会情勢の劇的な変化に対応するには教育環境の変化なしでは、考えられない状況です。

文部科学省の高等学校指導要領の告示が本年度中に予定されています。高大接続改革の一つとしてセンター試験の大幅な内容変更が3年後ということ、教育現場は待たない印象を私は持っています。PTAは時代の変化にフィットした教育環境を家庭、学校、行政の橋渡し役として提供するお手伝いを担うものと考えています。今後とも皆様の温かいご理解とご支援とご協力をよろしくお願いします。

平成29年度定期総会開催

6月1日富山電気ビルにおいて、平成29年度県高P連の定期総会が約200名の参加を得て開催され、新役員が次のとおり選出されました。

顧問

牧田和樹

会長

石坂兼人（富山）

副会長

岩田秀昭（魚津） 山崎均（富中）
金田栄悟（高岡） 森雄一（砺波）
木村博明（富山）

会計監査

柳田毅（富工） 本田利麻（砺工）

P側理事

古川和幸（入善） 伊東敬祐（桜井）
作井大介（滑川） 山本忠久（富商）
岡本達也（富東） 花野義章（工芸）
土田恭嗣（高商） 張田真（福岡）
安達正彦（福野） 吉田貴浩（福光）

T側理事

神田聡（魚津） 石倉和裕（滑川）
福島英晴（富中） 松倉泉（富工）
仲井章（富商） 荒木義雄（高岡）
六家敬吉（工芸） 宮岸毅（高商）
林誠一（砺波） 今堀俊彦（福野）
松岡等（雄峰）

幹事

遠藤俊睦（上市） 澤田昭芳（雄山）
松本健（富山） 高橋宏幸（富商）
村上竜哉（水橋） 村田憲三（小杉）
大代敏彦（大門） 松村勉（志賀町）
井渕信雄（平） 水上秀子（石動）
木下正博（雄峰）

広井

睦・横田淳一（事務局）

北信越高P連研究大会富山大会

未来を担う人づくり 未来のために行動する「二人」を育てよう



開会式

子どもたちが自ら未来への夢を見いだして、健やかに育み、夢が実現できるように環境を整え、支援をすることであり、この大会での気付きや体験を今後の各学校のPTA活動の変化のための大きなきっかけにしてもらいたい。」と述べ、森崎綾子全国高P連副会長が、「この大会が未来を担う子どもたちのために、未来を行動する一人を育てるために何ができるのかを考え、情報交換を行う貴重な場となってほしい。」と挨拶されました。

平成29年度北信越地区高等学校PTA連合会研究大会富山大会が、7月7日(金)、8日(土)の二日間に行われ、梅雨が一休みして真夏を思わせる快晴のもと、富山県民会館をメイン会場に、北信越地区5県から約1200名が参加して開催されました。

午後1時からの開会式では、大会実行委員長の石坂兼人富山県高P連会長が、「PTA活動は、保護者と



南砺平高校郷土芸能部



分科会発表

その後、北信越地区でPTA活動に功績のあった31名の表彰、県知事代理 山崎康至副知事、富山市長代理 酒井敏行富山市教育委員会事務局長からの祝辞、来賓紹介等があり、開会式は終了しました。

開会式後の歓迎アトラクションでは、富山県立南砺平高校郷土芸能部が唄と踊りで、「越中五箇山民謡」「こきりこ」、「五箇山追分」、「麦屋節」を披露し、観衆を魅了しました。

午後2時30分から、高校教育とPTA、進路指導とPTA、生徒指導とPTA、家庭教育とPTAの4分科会が開催され、各分科会では各県1校ずつ合計20の実践事例が報告された後、活発な質疑応答や意見交換が行われ、最後に、助言者の講評があり、終了しました。

夕方には、教育懇談会がホテル



閉会式会場風景

グランテラス富山で開催され、約800名の参加者が、富山県を代表する「越中おわら節」の唄と踊りを間近で堪能し、富山県の海の幸に舌鼓を打ちながら、それぞれ歓談に花を咲かせ、懇親を深めました。

大会二日目は、午前10時からの記念講演で始まり、富山県出身の女優、室井滋氏を講師に迎え、「いろいろありますが個性を伸ばすとは」の演題で、北日本放送ラジオパーソナリティー 鍋田恭子氏とのトークショーで進められました。

閉会式では、牧田和樹全国高P連会長(富山県高P連顧問)からの力強い挨拶の後、富山大会の大会宣言が採択され、続いて、平成30年度開催県の新潟県高P連 川上克会長から次年度の再会を呼びかける挨拶があり、最後に、石坂実行委員長の閉会挨拶で締めくくり、大会は無事に幕を閉じました。

第1分科会「高校教育とPTA」

連携の可能性を求めて

雄山高校PTA会長 杉本 武志

本校PTAは三つの専門委員会(広報・生活指導・研修)で活動しています。役員は、表題の「高校教育とPTAの連携の可能性」を常に意識し取り組んでいます。役員自らがPTA活動や学校行事に積極的に参加することで会員への誘導・促進に繋がるものと考えています。また、子どもたちを直接支援しながら寄り添い「思い出と時間の共有」を図ることができず。たとえ、参加できなくとも広報誌やメール配信による連携で、直接子どもと向き合わなくとも陰ながらに見守った

り、支援しながら子どもが今何を感じ受けて止めているのか、「子どもの心の共感」ということができるかと思えます。要は、子どもたちを見守り導くPTAの心にも、ゆとりと余裕がなければ子どもたちへのよいサポートは生まれません。親同士が更なる交流と出会いを楽しみ、心に豊かさを感じていくPTA活動であることが、子どもたちと接していく中で大きな影響となり、学校教育と連携したよき家庭教育となつていくものと思えます。



第2分科会「進路指導とPTA」

時代を越えて受け継ぐ心

砺波高校PTA副会長 竹松 豊一

本校の生徒は、全員が大学進学を目指して、文武両道に励んでいる。とりわけ国立大学の現役合格率は毎年約7割と全国的にも高いことが特徴である。保護者は、生徒たちのこの奮闘を物心両面で支えている。PTA総会や学年研修会の参加者は8割を超え、体育大会等の学校行事にも熱心に足を運ぶ姿がある。

PTAでは、「親の奮戦記」と題し、卒業生の保護者に依頼して、受験体験記を寄稿していただいている。「子供の自

主性や意思を尊重し見守ること。」「学校行事やPTA活動に積極的に参加し、子供の学校生活を理解すること。」「保護者と先生は車の両輪であり、互いの信頼関係を大切にすること。」等、内容は多岐にわたるが、どれも、子供への愛情に満ち溢れている。

先輩の保護者から受け継いだ、子供の成長を支援する「親としての心構え」を、私たちが次の世代に伝えていきたい。



分科会発表要旨【富山県発表者】

第3分科会「生徒指導とPTA」

富山西高等学校PTAの取り組み

富山西高校PTA会長 山口 尚稔

本校のPTA組織は広報、進路指導、生活指導の3委員会構成しています。

本校PTAはこれまで「さわやか運動」や「PTS座談会」など学校教育への保護者参加の機会を模索しつつ、子どもたちとの相互理解の深化を図ってきました。また近年、保護者と教職員で生徒達を温かく見守りながら、必要なときは保護者と教職員が連携して粘り強く指導してきました。その甲斐あつて学校は落ち

着きを見せてきています。

3年前の創校90周年記念式典では、生徒全員が準備業務に従事し、お客様を「もてなしの心」で迎えることができたようです。これからは子どもたちがさまざまな場面で活躍し成長していけるように、今まで以上に力を合わせ、学校全体で子どもたちの応援をしていきたいと思えます。



第4分科会「家庭教育とPTA」

手をかけるから目を配る心配るかわり方へ

高岡高校PTA会長 金田 栄悟

子どもに対するこれまでの接し方を振り返るとともに、これからの関わり方を考えるために、本校PTAの全体委員を対象としてアンケートを実施した。その結果、これまで『自分で選択し責任を持つこと、夢や目標を持つことの重要性』を95%以上の保護者が伝えてきたことがわかった。また、現在親が子に対して使う言葉としては『自分の好きなこと、やりたいことをしなさい』が最も多かった。

一方、学校で行った研修に参加した生徒のアンケート結果から、子どもたちの自主性と意欲の高まりを感じる。子どもたちには、体験を通してこれまでの自分を見直し、新たな目標を定めるだけの準備ができていない。我々保護者は子どもたちが困難な状況になつたときにもそれを乗り越えていくことができるように育ててほしいと願う。

そのために、手をつけ過ぎず、心を配り、応援し続けていきたい。



共学共育

新川みどり野高校PTA

「全員参加型のPTA」

活動をめざして

本校のPTA役員は、会長1名、副会長6名、クラス役員が例年40名前後という構成になっております。

本校では、PTA役員は、3年間で1回(1年)はやりましようというところで、入学式後の保護者懇談会の場で、向こう3年間の各年次における役員を決めています。したがって、基本的には保護者全員が必ず1年間、役員を経験することになります。全校生徒が少ない本校ならではの特徴と言えるかもしれません。

また、部会構成は研修部会と生徒生活指導部会の2部構成となっております。役員の皆さんは、いずれかの部会に所属することになっております。

それぞれの部会での活動について、

生徒生活指導部会は、春・秋のさわやか運動への参加を中心に、研修部会は年2回発行のPTA広報「みどりの」の編集を中心に活動しています。



さわやか運動

毎年秋に開催されるキャンパスフェスティバル(学校祭)は、地域の方々や学友が県民カレッジ新川地区センターと共催で実施していますが、

ここでは本校PTAが「みどり野屋台村」と称して、お好み焼き、焼そば、豚汁などを提供し、毎年好評を得ています。学校と地域と家庭の連携が叫ばれているなか、このような機会は日頃の連携を一層深めるうえでも意義深いものとなつていると言えます。この屋台村の実施に際しては、役員会でメニューと価格を決め、キャンパスフェスティバル2週間前の打ち合わせ時に材料の数量を計算し、試作と試食を行うなど和気藹々のなかにも緻密な活動を行っています。なかにはプロ級の焼き手もおられて、B級グルメの殿堂などと自画自賛しながら楽しく活動しています。



みどり野屋台村活動風景

ただ本校PTAとしましては、学校と保護者の連携の面からも、もう少し学校へ来ていただきたいという思いがあり、そのためにも保護者が来校できる機会・行事を増やしたり、保護者への案内を徹底したり、HP等の活用の充実を図っていたいたりました。昨年度からは進路講演会に保護者も参加するようになり、今年度は学校開放ウィークなどの新しい試みもなされる等、徐々にではありますが、保護者の来校が増えています。

新川みどり野高校PTA
会長 西海谷義広

富山高校PTA(むつみ会)

「子どもの成長を支えるPTA活動」

本校のPTA(むつみ会)は、会長1名、副会長6名、監事3名、理事6名で「理事会」を構成し、これに各クラスより3名ずつ選出されるクラス委員を加えた「むつみ会委員会」、全委員が議事に参加する「総会」で運営しています。また、この他に、広報誌を編集する「むつみ編集委員会」、PTA少年補導員と連携する「生徒生活指導委員会」があります。



むつみ会総会

総会は、例年5月初旬の土曜午後に行つていきます。PTA活動の基本は、まず保護者が学校へ足を運び、その目で生徒や学校の様子を見ることです。そこで多くの保護者が参加できるように「公開授業」や「学年・学級保護者会」を合わせて行つていきます。今年度の参加者は622名でした。

むつみ会委員会は各学期1回の実施です。1、2学期は学期末の土曜午後に行い、「学年懇談会」、「親の学び講座」を同時に行つていきます。委員会の前半に「親の学び講座」、後半は、学校・学年の現況、進学・部活動状況報告、学年懇談会等を行つていきます。

「親の学び講座」は保護者のための教養講座です。生徒の教育支援、進路支援等を目的に、年2〜3回実施しています。今年の内容を紹介すると、第1回講演「子どもの成長を見守るときに大人ができること」根塚明子先生(臨床心理士)、第2回演奏会「東京大学音楽部管弦楽団音楽教室」、第3回講演「受験における保護者の役割(仮題)」佐藤亮子先生(進学アドバイザー)です。根塚先生のご講演では、



親の学び講座

「親としてずっと悩んでいたことにどうすれば良いか教えていただいた。救われた感じがしました」等の感想が寄せられ、本講座が親子の関係を深めるために有意義であったことを伺えます。

PTA活動の目的は、保護者と学校が連携して子どもの成長を支援することですが、その主役は子どもたちです。子どもたち一人一人の自主性を重んじ、見守る姿勢を大事にしたいと思えます。生活習慣や環境を整えることで高校生活を通じてたくましく成長し、変化の激しいこれからの世の中に果敢に挑む気概を身につけて欲しいと願っています。

富山高校PTA(むつみ会)
会長 石坂兼人

＊小杉高校PTA＊

「自主 創造 明朗
子どもたちの健全育成の
ためのPTA活動」

本校PTAは、会長1名、副会長12名、理事4名、監事2名、委員50名で構成され、監事を除く役員は進路指導、広報、保健、生活指導・家庭教育、国際交流のいずれかの委員会に所属しています。

進路指導委員会では、毎年「保護者のための進路学習会」を開催しています。進路選択の一番の理解者は保護者であると考え、子ども心に寄り添うための心の有り様を県内外の著名な方に伺っています。

広報委員会では、年3回PTA通信「トライアングル」を発行しています。今年度発行するものが160号となり、長く先生・生徒・保護者の三者の間を結んできました。学校行事での子どもたちの様子や、部活動での活躍、各研修会の保護者の感想などを掲載しています。

保健委員会では、学校における健康問題に対して、家庭・地域社会の教育力の充実を図っています。年1回開催の学校保健委員会は、定期健康診断の結果や生徒保健委員会の活動について協議し、学校医から



さわやか運動

指導・助言や講演をいただいています。生活指導・家庭教育委員会は、夏のさわやか運動の折に、小杉駅頭や学校の生徒玄関であいさつ運動に加わっています。また、夏季休業中の夜間巡視にも協力しています。

国際交流委員会では、姉妹校アメリカオレゴン州にあるインターナショナルスクール・オブ・ビーバートンとの交流を担当しています。前年度3月に姉妹校を訪れた2・3年生の家庭が所属し、姉妹校が本校を訪問する際には、ホームステイを受け入れています。



学校祭模擬店

3年に一度の学校祭では、PTAも模擬店を出店します。今年度は学校祭の年にあたり、役員会で出店するものを検討しています。学校祭では生徒たちも「創校の父」南原繁先生の演劇を披露します。南原先生の功績をわかりやすく伝えるために、先生方とシナリオを考え、現在一生懸命練習に取り組んでいます。

このように小杉高校PTAでは、様々な活動を通して、勉強・部活動に頑張る生徒たちをサポートしています。子どもたちが伝統ある小杉高校で自信と誇りを持って高校生活を送れるように、大人と子どもたちがともに成長できるPTAを目指して活動しています。

小杉高校PTA

会長 小善行

地区指導者研修会報告

新川地区指導者研修会

日時 6月13日(火)

会場 魚津高等学校

分科会と発表校

第1分科会 高校教育とPTA

雄山高校 杉本武志会長

第2分科会 進路指導とPTA

魚津高校 岩田秀昭会長

第3分科会 生徒指導とPTA

桜井高校 伊東敬祐会長

講演

「ヤドリギの話」

日本海植物研究所

所長 佐藤 卓 氏

富山地区指導者研修会

日時 6月27日(火)

会場 富山いずみ高校

分科会と発表校

第1分科会 高校教育とPTA

富山商業高校 山本忠久会長

第2分科会 進路指導とPTA

富山中部高校 山崎 均会長

第3分科会 生徒指導とPTA

富山西高校 山口尚稔会長

第4分科会 家庭教育とPTA

呉羽高校 新道清志会長

講演

「e-ネット安心講座」

KDDI株式会社北陸総支社

管理部マネージャー

細川一人 氏

高岡地区指導者研修会

日時 6月14日(水)

会場 ウイング・ウイング高岡

分科会と発表校

第1分科会 高校教育とPTA

高岡商業高校 土田恭嗣会長

第2分科会 進路指導とPTA

高岡工芸高校 花野義章会長

第3分科会 生徒指導とPTA

伏木高校 網紀代志会長

講演

「大友家持と万葉集」

高岡市万葉歴史館

館長 坂本信幸 氏

砺波地区指導者研修会

日時 6月14日(水)

会場 福光福祉会館

分科会と発表校

第1分科会 進路指導とPTA

砺波高校 竹松豊一 副会長

第2分科会 家庭教育とPTA

となみ野高校 樋掛昌代会長

講演

「言葉の重み」

落語家

桂 枝女太 氏

第67回 全国高P連大会 静岡大会

『有徳の人』づくりく未来のために行動する「一人」を育てよう』をテーマに第67回全国高P連大会静岡大会が8月24日、25日の両日、静岡県袋井市小笠山総合運動公園エコパをメイン会場に開催されました。全国から約9400名、富山県からは125名参加しました。

アトラクションでは、一日目は、郷土芸能の披露、箏部や吹奏楽部の演奏、二日目は、管弦楽の演奏や太鼓の演奏がありました。高校生のはつらつと躍動感あふれる発表は、いずれも見応えがありました。

開会式では、牧田和樹全国高P連会長（富山県高P連顧問）による式辞、続いて林芳正文部科学大臣、川勝平太静岡県知事からの祝辞があり、その後、表彰式が行われ、本県からは、3校1個人が表彰されました。

開会式後、静岡大学名誉教授小和田哲男氏の「戦国武将に学ぶ子育てと人づくり」と題する基調講演が行われました。

7会場に分かれての分科会（4分科会・2特別分科会・全国高P連発表）が、一日目の午後に行われましたが、静岡市民文化会館で行われた第三分科会では、富山西高校PTA会長の山口尚稔氏が「富山西高等学校PTAの取り組み〜子どもたちへの関わり方の再考〜」と題し、これまで生徒指導等に関わって実践された内容等について、発表されました。

二日目の記念講演では、地元出身の俳優 寛利夫氏が、司会のアナウンサーとのトークショーで、これまでの生きざまをもとにお話されました。

閉会式では、次年度開催の佐賀県より佐賀の紹介と挨拶があり閉会となりました。

24日には本県の教育懇談会を静岡市の浮月楼で開催し、県高P連会員の親睦を深めました。



アトラクション（静岡県立掛川東高校 吹奏楽部）



富山西高校PTA会長 山口尚稔氏の発表

参加者の声

第67回全国高等学校PTA連合大会静岡大会が、「有徳の人づくり」をメインテーマに、8月24日・25日にわたり開催され、参加させていただきました。

少子高齢化、経済のグローバル化、情報社会の進展など、今、日本は大きな変革の時代を迎えると同時に、フリーターやニートの増加、地域産業の空洞化、経済格差の拡大、情報モラルの低下など、様々な課題を抱えています。

そういう中、静岡県は、「有徳の人づくりを進めており、個人として自立した人々との関わり合いを大切にしている人、より良い社会づくりに参画し、行動する人を育てています。

今回、講演会や分科会に参加させていただき、有徳の人を育てるために、子どもたちが、高い志を持って学び、未来を切りひらく力を養うことができる環境を整えていくことが、PTAの使命であり、また、社会の責務であると改めて再発見するよい機会になりました。

また、富山県高等学校PTA連合会主催の教育懇談会では100名を超える会員が集い、様々な意見交換を行い、絆を深め、とても充実した時間を過ごすことができましたと思います。

日中は最高気温が37℃まで上がり、移動時は汗だくになりましたが、多くの出会いと気づきを得ることができました。関係各位の皆様方に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

（富山東高校PTA会長 岡本達也）

平成29年度表彰

本年度の全国高P連大会、北信越高P連研究大会で、次の皆さまが表彰されました。

▼優良PTA文部科学大臣表彰
団体 高岡工芸高校PTA

▼全国高P連大会会長表彰
団体 雄山高校PTA

個人 となみ野高校PTA
個人 佐々木基安（前高P連副会長）

▼北信越地区高P連表彰

橋爪健一郎（前高P連副会長）
木倉 雅彦（前高P連副会長）
河合 常晴（前高P連副会長）
藤井 義成（前高P連会計監査）
今井 英（前高P連会計監査）

編集後記

7月7日・8日に開催された北信越高P連大会富山大会では、チーム富山県高P連として、皆さんが一丸となり大会を盛り上げていただき、大成功のうちに大会を終えることができました。この場をお借りし、厚くお礼申し上げます。

117号の発行にあたり、寄稿していただきました多くの皆さまに厚くお礼申し上げます。今後も紙面の充実を目指していきたいと思っております。

さて、県高P連では、今年度も11・7運動や主権者教育啓発活動を始めとして、高校生がより健やかにたくましく成長することを願い、PTA活動を推進しています。今後も、皆さまのご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

（事務局長 広井 睦）